

## 平成29年度 待機児童の状況等について

### ○ 待機児童の人数について

- ・ 平成29年度の待機児童数は、4月から10月までは0人であったが、11月に40名、12月に42名、1月に44名、2月に67名となっている。
  - ※ 例年、年度当初には待機児童はいないが、年度後半から生じる傾向にある。  
これは、毎月の利用申込みにより利用定員が埋まっていくためであり、また、このことによって、保留児童（近隣施設に空きがあるが一部の園のみを希望する児童）が待機児童に移行するためである。
- ・ 「平成29年度 待機・保留児童数内訳」 … 資料2-2 参照

### ○ 今後の対策について

待機が生じた事由等を踏まえ、次の対策を実施・強化していく。

#### （1）保育の供給量増加による受け入れ枠の拡大

- ・ 利用定員の弾力化の実施（弘前市待機児童解消策）
- ・ 施設整備による定員増

（H29年度：4施設51名分、H30年度：5施設63名分）

#### （2）保育士不足解消による受け入れ体制の整備

- ・ 保育士の負担軽減・離職防止を図るためのICT化推進事業の実施

（H28年度：39施設実施、H30年度：5施設実施予定）

- ・ キャリアアップ体制構築による処遇改善

#### （3）保護者への情報提供

HP等で最新の空き状況を公表し、随時更新していくとともに、幼稚園での預かり保育、企業主導型保育施設の地域枠の利用等、保護者の選択肢を広げる情報提供を行う。